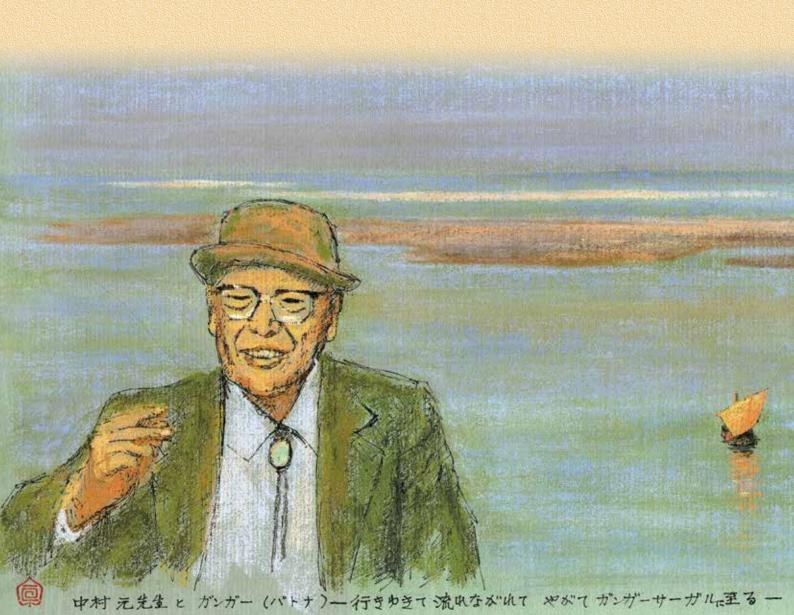
# 東方学院松江校 The Eastern Academy at Matsue

受講の手引き





#### 東方学院

#### 理念

〈人間〉の回復をめざし 財団法人東方研究会を母胎として ここに『東方学院』を開設しました。 『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される 共同体としてのグループの連合です。 〈個人指導の場の共同体〉とでもいうべきものをめざしています。

The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established with the hope of contributing to the restoration of human integrity. This Academy is a cooperative body of various academic communities of scholars and students wishing to learn, in which scholars provide personal guidance to the students. Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point for students and scholars.

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

#### 目次

「慈しみ」	- 3
ごあいさつ	- 4
東方学院とは ————	- 4
東方学院松江校について ―――――	<b>–</b> 6
2015年度 定期講義・集中講義 一覧 —————	- 7
2015年度 定期講義 講義內容 —————	- 8
2015年度 集中講義 講義內容 —————	<b>—</b> 10
定期講義・集中講義 受講のご案内	-12
受講申込書 ————————————————————————————————————	-13
2015年度 特別講座 ——————	-15
2015年度 年間スケジュール —————	-16
中村元記念館について	-17
中村元記念館ボランティアサポーター募集 ————	<b>—</b> 18
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集 ———	— 18
アクセス	<b>—</b> 19

# 慈しみ

一切の生きとし生けるものは 幸福であれ 安穏であれ 安楽であれ 一切の生きとし生けるものは 幸であれ 何びとも他人を欺いてはならない たといどこにあっても 他人を軽んじてはならない 互いに他人に苦痛を与える ことを望んではならない この慈しみの心づかいを しっかりと たもて

中村元訳 ブッダのことば

# 中村 元



インド哲学・仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。 1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究 の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない 壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。 大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。 同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会(現公益財団法人中村 元東方研究所)を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭 和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛教語大辞典』(東京書籍)、『初期ヴェーダーンタ哲学史』(岩波書店)、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』(春秋社)、他多数。



中村元記念館館長)(公益財団法人中村元東方研究所理事長

平成24年10月10日、私の長年の夢でありました恩師中村元先生の記念館が、大根島の中心に開設され、平成25年4月には、この記念館に東方学院松江校が、東京の東方学院本校と緊密な連携のもとに、開校されましたことは私の最大の喜びです。なぜなら大根とは、ものの根本中の根本、すなわち中村元の元を意味し、将来中海・宍道湖圏域の連携・発展の根本となり、元となり、中村元記念館と松江校がその象徴となることを願っているからです。

中村先生ご自身の書斎、毎日お使いになった3万4000冊のご蔵書、その他数々のご遺品とともに、先生はこよなく愛された生まれ故郷の松江に帰ってこられました。先生は、一人でも多くの方々がこの記念館に集い、先生が開拓された学問の道を歩み、東洋の思想と文化の精華を吸収され、さらにそれを広く発信し、世界の平和と繁栄に貢献されることを願っておられるにちがいありません。

東方学院には報酬の有無を度外視して教えたいという 意欲的な先生方にお集まり頂きました。当学院に入学す るのに、年齢も性別も学歴も職業も問いません。唯一必 須の入学条件は勉強に対する強い意欲です。それ故に東 方学院では受講生とは言わず、研究会員と申します。一 人でも多くの研究会員のお出でをお待ちしております。

# 東方学院とは

#### 老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所 ——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会(現 公益財団法人中村元東方研究所)を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑚を深めています。

そして平成25年4月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを 抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私 たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた 東洋の智慧を学んでみませんか?

#### ◆ 東方学院の特徴

- ・真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
- ・専門家のあいだの縄ばり意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
- ・講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
- ・各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに 詳しい講義がなされています。
- ・従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
- ・学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
- ・東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。 ※松江校の会員区分については6ページをご覧ください。

#### ◆東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会(現公益財団法人中村元東方研究所)を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあって、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ — これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生(「昭8文乙クラス会」のメンバー)である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

財団法人東方研究会 名誉理事長 中 村 洛 子 (1919~2010)

※財団法人東方研究会は平成24年7月2日付けで、公益財団法人中村元東方研究所へと名称を変更しました。

東方学院松江校では、学びたいという想いを持つ方は誰でも、仏教をはじめとした東洋思想について、大学のような90分の本格的な講義を受けることができます。受講する講義数に上限はありません。講義には広島県や山口県など、島根県外からの参加者もいらっしゃいます。2015年度に松江校が開講する講座は、大きく分けて以下の3種類があります。

●定期講義 …… 毎週・隔週・月1回など、決まった曜日に定期的に開催する講座です。

●集中講義 …… 夏期および冬期に数日間(2~4日)集中的に開催する講座です。

●特別講座 …… 夏期または冬期の2日間(土日)に開催する講座です。

講座	開講時期	講義時間	入会金 (※①)	会員区分	体験受講 (※②)	対応頁
定期講義	前期:4月~7月 後期:10月~12月	90分(回数は講義	要	研究会員	可	7~9ページ、 12ページ
集中講義	夏期 (8~9月) および 冬期 (2~3月)	により異なる)	安	柳光云貝	17)	7ページ、 10~12ページ
特別講座	夏期 (8~9月) または 冬期 (2~3月)	90分×4コマ	不要	非会員	不可	15ページ

#### ※① 入会金について

- ・「定期講義」「集中講義」を受講するためには、会員登録が必要です(以下の表を参 照)。
- ・入会金(継続事務費)を納めて会員登録をされた方は「研究会員」となり、2015年度特別講座の受講料割引や開架図書の館内利用などの特典があります。
- ・過去に松江校研究会員になったことのある方は、継続扱いとなります。
- ・研究会員の在籍期間は、2016年3月31日までです。

	新規入会者	継続者
入 会 金	10,000円	_
継続事務費	_	5,000円

#### ※② 体験受講について

- ・体験受講料(1講座1,500円)をお支払 いいただき、実際に受講して講義の雰囲 気やレベルを確かめることができる制度 です。入会金は不要です。
- ・定期、集中の全ての講座で1コマ (90 分) 体験できます。
- ・前日までに、お電話または受付でご予約 ください。



定期講義風景

☎0852-76-9593 (受付時間10:00~17:30、月曜日を除く)

#### ■2015年度 東方学院松江校ガイダンス

#### 4月11日(土) 14:00~16:30 会場:中村元記念館

中村博士と東方学院の説明、および定期講義を中心に各講師による講義案内・質疑応答を行います。受講申込みをされた方のほか、興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

# 2015年度 定期講義・集中講義 一覧

講義日は変更になる場合があります。

休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。 http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

#### ■定期講義

	番号	講義名	講師名	曜日·日程	時間	開講日	年間講義数	受講料
毎	1	仏教は何を説いているのか	三桐 慈海	毎週木曜日	13:30~15:00	4/23(木)	前期 14	¥16,800
週	2	仏典解説	三桐 慈海	毎週木曜日	13:30~15:00	10/1(木)	後期 12	¥14,400
	3	仏教の歩みを尋ねて―インドか ら日本へ(その3)―	藤島 建樹	第1、第3土曜日	13:30~15:00	4/18(土)	前期 6 後期 6	¥14,400
隔週	4	アジアの風土と民族音楽 I 〜概説と楽器体験	瀬古 康雄	第2、第4土曜日	13:30~15:00	4/25(土)	前期 7 後期 5	¥14,400
	5	アジアの風土と民族音楽Ⅱ ~鑑賞と実技	瀬古 康雄	第2、第4土曜日	15:30~17:00	4/25(土)	前期 7 後期 5	¥14,400
	6	出雲学概論	藤岡 大拙	第2水曜日	10:20~11:50	5/13(水)	前期 3 後期 3	¥7,200
	7	『無量寿経』を読む	斎藤 舜健	第3金曜日	13:30~15:00	5/15(金)	前期 3 後期 3	¥7,200
月1回	8	観想行入門―座禅を中心に―	清水谷善圭	第4木曜日	10:20~11:50	4/23(木)	前期 4 後期 2	¥7,200
	9	<新規開講> 宮沢賢治の≪文語詩稿≫を読む	島田 隆輔	第2土曜日	13:30~15:00	5/9 (土)	前期 3 後期 3	¥7,200
	10	<新規開講> 仏像 見分け方講座	的野 克之	第2日曜日	10:20~11:50	5/10(日)	前期 3 後期 3	¥7,200

〈開講期間について〉

前期:4月18日~7月31日(4月29日~5月6日は休講)、後期:10月1日~12月19日

※夏期 (8~9月) および冬期 (1~3月) は補講期間とします。

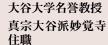
※詳しくは16ページの年間スケジュールをご覧ください。

#### ■集中講義

番号	講義名	講師名	曜日・日程	時間	年間講義数	受講料
11	現代日本仏教に見られる特徴は何か 一宗派意識と現代的意義	蓑輪 顕量	8/4(火)、8/5(水)、 8/6(木)	10:20~11:50 13:30~15:00 15:30~17:00 (最終日は15:00まで)	8	¥9,600
12	仏教・ヒンドゥー教・イスラーム教 の対話	保坂 俊司	8/25(火)、8/26(水)、 8/27(木)	10:20~11:50 13:30~15:00 15:30~17:00 (最終日は15:00まで)	8	¥9,600
13	『華厳経』へのいざない	釈 悟震	9/3(木)、9/4(金)、3/8(火)、3/9(水)	13:30~15:00 15:30~17:00	8	¥9,600
14	近代以降のインド的思惟の特質	丸井 浩	3/2 (水)、3/3 (木)	13:30~15:00 15:30~17:00	4	¥4,800

#### 2015年度 定期講義 講義内容

#### <sup>みつぎり じ かい</sup> 三桐慈海



#### 仏教は何を説いているのか(前期)

仏教は生きる意味、如何に生きるのかを教えます。和訳された経 典の文によって、仏教の基礎を学習してみたいと思います。

#### 仏典解説 (後期)

2 般若経、維摩経、法華経、涅槃経などの大乗経典を解説し、諸経 典の中より選んで実際の経文の講読を試みます。

※前期「仏教は何を説いているのか」を受講することが望ましい。

# ふじしまたて き藤島建樹



大谷大学名誉教授 真宗大谷派圓浄寺 住職

#### 仏教の歩みを尋<u>ねてーインドから日本へ(その3)</u>

10世紀に入ると「唐」帝国の崩壊をきっかけに東アジアは激動の時代を迎えます。周辺で勢力を蓄えた少数民族が興起し、契丹族の「寮」、党項族の「西夏」、女真族の「金」、蒙古族の「元」が次々と建国します。約400年間東アジアを席捲しました。その間、仏教も印刷術の進歩による「大蔵経」の刊行なども有って、アジア全体に波及しました。日本における鎌倉新仏教の展開もその影響下にあります。

東アジアの歴史的推移に注目しつつ、仏教の状況を考究します。 今年で3年目ですが、初めての方も興味を持っていただける様に 留意しますので、ぜひご参加ください。

#### 世こやすお瀬古康雄



元島根県立大学短 期大学部教授 しまねガムラン主

「庭火祭・国際民族 音楽祭IN八雲」実 行委員会副委員長 しまね多文化共生 ネットワーク委員

#### アジアの風土と民族音楽Ⅰ~概説と楽器体験

民族音楽は初めてという人のための入門講座で、今年はインド音 楽から始めてペルシャや中国などシルクロード各地の風土と伝統音 楽を取り上げ、現地で収録したビデオや庭火祭などの日本公演のビ デオを鑑賞するとともに、実際に各地の民族楽器に触れてみるとい う楽器体験も行います。

#### アジアの風土と民族音楽Ⅱ~鑑賞と実技

アジアの風土と民族音楽をめぐって、各地のユニークな音楽や舞踊を鑑賞し、芸術の背後にある風土や宗教について考えるとともに、インドのシタールやインドネシアのガムランなどの実技指導を行います。希望者には授業外の個人レッスンを行ったり民族音楽を楽しんでいるいろいろな楽団を紹介します。

#### ふじおかだいせつ 藤岡大拙



島根県立大学短期 大学部名誉教授 しまね文化振興財 団理事長 荒神谷博物館館長

#### 出雲学概論

古代出雲を中心に、出雲神話、神祇信仰、神社の実態、神仏習合 過程等を述べ、続いて大和政権の支配下に入ってからの出雲が、ど のような歴史を辿るかを、伊勢と出雲の二極の相関関係の中で考え、 現在の出雲のよって来る歴史的因子を探りたい。

# さいとうしゅんけん



浄土宗総合研究所 専任研究員

浄土宗西方寺副住職 佛教大学非常勤講師

#### 『無量寿経』を読む

我が国では多くの仏教宗派が南無阿弥陀仏と口に称えることで救われると説く。その教えは法然が説き始めたが、その際、彼が根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』という三経典で、浄土三部経と呼ばれる。『無量寿経』には、阿弥陀仏が仏となった経緯、阿弥陀仏によって救われる理由などが述べられていて、法然の理解を通すことで、我が国の阿弥陀仏信仰の根元となった。一方で、インドの初期大乗仏教以来の菩薩思想、現在他方の諸仏の思想に基づく経典でもある。

本講座では、インド仏教と法然の浄土教という二つの方向から『無量寿経』を読み解く。27年度は昨年度からの継続で、阿弥陀仏の成道を説く所から読み始める。

〈参考書〉『浄土三部経』 中村 元、紀野 一義、早島 鏡正(岩波文庫)『【現代語訳】浄土三部経』 浄土宗総合研究所(浄土宗出版)

# しみずたにぜんけい



安来清水寺第6世 貫主

特定非営利法人中 村元記念館東洋思 想文化研究所理事 長

#### 観想行入門―座禅を中心に―

お釈迦様が説かれた仏の教えをともに学び、その教えを会得する 為に座禅を中心とした観想行の実践に取り組む。この観想行を通し て心の内観・内省に努め、「色即是空、空即是色」の意味する処を体 得していきたい。

#### しまだたかすけ 島田隆輔



中村元記念館東洋 思想文化研究所研 究員

博士(文学)

#### 《新規開講》宮沢賢治の《文語詩稿》を読む

童話の宮沢賢治は文語詩人でもありました。最晩年に集注した《文語詩稿》を、自筆原稿(複写)を傍らに、イーハトーブ(岩手)の現実を直視する作品を読み解いてゆきましょう。「祭日」「盛岡中学校」「柳沢野」「盆地に白く霧よどみ」「母」「岩手公園」を読んで、その風土性・時代性について考えてみたいと思います。

〈参考書〉『新校本宮澤賢治全集』(筑摩書房)

## まとの かつゆき 的野克之



島根県立古代出雲 歴史博物館学芸部 長

#### 《新規開講》仏像 見分け方講座

近年仏像ブームと言われ、寺院巡りも単なる観光ではなく、お気に入りの仏像を目指して出かける方も多い。しかし、仏像の前に立ったとき、その仏像のお名前(尊名)や意味などを理解して拝観しているだろうか。この講義では、まず仏像の尊名の見分け方を学ぶ。その後、各時代毎の仏像の特徴について学ぶ。最終的には、寺院の仏像の前に立ったとき、その仏像の尊名や造られた時代までが分かるようになることを目指す。

〈参考書〉『仏像のひみつ』山本勉(朝日出版社) 『仏像に会いに行こう』副島弘道(東京美術)

#### 2015年度 集中講義 講義内容

#### an h けんりょう **蓑輪顕 量**

東京大学大学院教授博士(文学)

中央大学総合政策



# 現代日本仏教に見られる特徴は何か一宗派意識と現代的意義

現代の日本仏教は果たしてどのような役割を果たしているのだろうか。ともすれば、忘れがちであって行事の時にしか登場しないように見えるが、その重要性を考えてみたい。一つには思想的な観点から、一つには、実践論的な観点から。歴史的な経緯を踏まえながら、現代の仏教が果たせる役割について、講義したい。

〈参考書〉『事典 日本の仏教』 蓑輪顕量(吉川弘文館 2014年)

ほさかしゅんじ保坂俊司



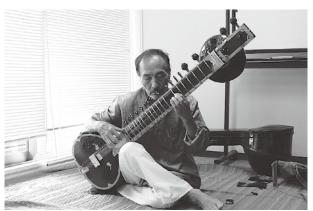
#### 仏教・ヒンドゥー教・イスラーム教の対話

インドの歴史は、異なる宗教の出会い、相克、そして融合の歴史 であったといえます。これをインドにおける宗教対話と呼べば、イ ンドほど宗教対話に富んだ国は他に見いだせないでしょう。インド の精神伝統は多様性にあり、異質なるものを排除しないという寛容 思想は、極めて自己絶対化に厳しいイスラーム教でさえ諸宗教融合 を称えたほどです。

ところで、日本人がこのインドの寛容思想を学ぶ意義は、第一に、インドの宗教史の多様性を知るのみならず、実は日本の伝統思想である神仏習合の思想的な背景を知ることに通じるという意味で、日本文化の基本的な思想の枠組みを知ることでもあります。第二に、イスラーム台頭による紛争の多発の時代において、イスラームと如何に平和的な共存が可能となるか、その思想的、更には文化的な知恵を、インドの宗教対話の実例から学ぶことにあります。少なくとも、インドにおいて繰り広げられた命がけの宗教対話の歴史の緊張感を共有することは、宗教紛争にほとんど無縁であった日本人には刺激的且つ有意義なものとなると思われます。世界の動向に関心のある方の聴講をお待ちしてます。

〈参考書〉『文明の衝突』S.ハンチントン(集英社) 『インド的思考』前田専學(春秋社)





しゃく ごしん **釈 悟震** 



中村元記念館東洋 思想文化研究所副 所長

文学博士 公益財団法人中村 元東方研究所研究

韓国国立ソウル大 学客員研究員

スリランカ国立ペ ラデニア大学客員 研究員

#### 『華厳経』へのいざない

中村元博士は『華嚴思想』(法蔵館、1960年)の中で、「『華厳経』 はある意味で東洋的思惟の最も絢燦たる結実であるということもで きるであろう。現在のわれわれが『華厳経』から教えられることが らは非常に多いと思われる」と著している。この講義では、中村博 士の教示からもわかるように、今日の多様化された社会および人間 環境においてブッダの悟りをそのまま説き明かしたとされる華厳経 を、できるだけわかりやすく紹介する。そして、古からの日本仏教 や朝鮮半島または中国仏教における『華厳経』にまつわる祖師たち の実際的な行脚からこの経の真髄を読み解き、現代に昇華させ、「共 に生きる」叡智を学びます。

〈テキスト〉『華厳入門』 玉城康四郎 (春秋社) (購入が必要) 〈参考書〉

『華厳経』『楞伽経』(現代語訳大乗仏典)中村元(東京書籍) 『華厳の思想』鎌田茂雄(講談社)

丸井 浩



東京大学大学院人 文社会系研究科 教授

公益財団法人中村 元東方研究所 常 務理事

日本学術会議第23 期連携会員

#### 近代以降のインド的思惟の特質

ヨーロッパ諸国、特に英国による植民地化が、インド社会・経済・政治に深く浸透するようになった18世紀後半以降、インド的思惟の展開は新たな局面を迎えた。インドの伝統的な宗教・哲学を固持しようとする保守派もいたが、西洋化はインドの思想界をも大きく揺り動かした。19世紀半ば以降は、高等教育が英語で行われるようになり、いよいよ事態は深刻化していく。こうした時代を生き抜き、インド精神の解放、あるいは蘇生、さらには政治的独立を図ろうとした何人かの思想家(ガンジーほか)を取り上げてみたい。





#### 「定期講義」「集中講義」受講のご案内

#### ●入会について

●「定期講義」「集中講義」を受講するためには、会員登録が必要です。なお、「特別講座」のみを受講する場合 や、「定期講義」「集中講義」を体験受講する場合は入会の必要はありません。

	新規入会者	継続者 <sup>*</sup>
入 会 金	10,000円	_
継続事務費	<del>-</del>	5,000円

※過去に東方学院松江校に入会され、定期講義または集中講義を受講されたことのある方。

- ●研究会員の在籍期間は、2016年3月31日までです。
- ●東方学院東京本校、関西教室、中部教室の研究会員の方も、松江校の入会金が必要となります。
- ●納入された入会金および継続事務費は、原則としてお返しできません。ただし、受講申込みをされた講座が、講師や当校のやむを得ない事情により1回も実施できず、他の講座の受講をされない場合に限りお返しいたします。

#### ●受講料について

- ●所定の受講料を全納していただきます。各講義の受講料は、講義一覧(7ページ)でご確認ください。
- ●受講料には、テキスト代は含まれていません。
- ●納入された受講料は原則としてお返しできません。ただし、次の場合に限りお返しいたします。
  - ・受講申込みをされた講座が、講師や当校のやむを得ない事情により1回も実施できなかった場合。
  - ・受講申込みをされた講座が休講になり、補講を実施できなかった場合の休講分の受講料。

#### ●受講申込みについて

- ●以下のいずれかの方法でお申込みください。(お電話ではお申込みいただけません。)
- ●郵送またはFAXの場合の申込手続きは、ご入金された時点で完了いたします。
- ◆受付窓口でのお申込み

<mark>受講申込書</mark>(13ページ)にご記入のうえ、入会金と受講料を添えてご提出ください。 (窓口での受付時間 10:00~17:30 月曜日を除く)

- ◆郵送またはFAXでのお申込み
  - 1. <mark>受講申込書</mark>(13ページ)にご記入のうえ、下記まで送付ください。 〈郵送の場合〉〒690-1404 島根県松江市八東町波入2060 中村元記念館 〈FAXの場合〉FAX番号 0852-76-9693
  - 2. 入会金と受講料を、申込日から1週間以内に下記の口座までお振込みください。
    - ・振込手数料はご負担ください。
    - ・振込のご依頼人の名前が、申込書と同じ名前であることをご確認ください。
    - ・振込の場合、領収書は発行いたしません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。 《振込先》山陰合同銀行 松江駅前支店(店番号004)

口座番号 普通3694628

口 座 名 特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

#### 【受講申込締切】

2015年3月31日(火) ※年度途中でのお申込みも受け付けますので、お問合せください。ただし、開講日1か月前までに受講申込者がいない講座は開講いたしません。

# 【受講申込書】

# 2015年度 東方学院松江校 定期・集中講義

_	太枠内をご記入	/ <del>  +   -                                 </del>
-	T 2001 M 200	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

▼ 太代内を	こ記入くださ	ر ۱ <sub>۰</sub>			_					
申込日	平成	年	月	田			事務局記入欄	受領日	担当	名簿
フリガナ						_ +<10	- ^ ^		_	
					区分	□ 新規	入会金	10,000円	1	
氏名				男·女		□ 継続 <sup>※</sup>	継続事務	費 5,00	0円	
年齢 (〇で囲む)		/ 20代 / 30 / 60代 / 70			職業 (〇で囲む)		/ 公務員 / 自宮 無職 / その他(	営業 /	学生	)
住所	〒	_								
電話番号		-	-		携帯電話		-	-		
FAX番号		-	-		E-mail					

※過去に松江校研究会員になったことのある方は、継続扱いとなります。

#### ◆ 受講を希望する講座の太枠内に○をご記入ください。

	番号	まりる時座の条件内にOをこれ入りたさい。 講義名	講師名	受講希望講座	受講料	事務	局記力	人欄
	田勺	所被·口	하막하나 1그	文碑印主碑庄	文語行	受領日	担当	名簿
	1	仏教は何を説いているのか	三桐 慈海		16,800円			
	2	仏典解説	三桐 慈海		14,400円			
	3	仏教の歩みを尋ねて	藤島 建樹		14,400円			
	4	アジアの風土と民族音楽 I	瀬古 康雄		14,400円			
定期	5	アジアの風土と民族音楽Ⅱ	瀬古 康雄		14,400円			
上州	6	出雲学概論	藤岡 大拙		7,200円			
	7	『無量寿経』を読む	齊藤 舜健		7,200円			
	8	観想行入門	清水谷善圭		7,200円			
	9	宮沢賢治の≪文語詩稿≫を読む	島田 隆輔		7,200円			ī
	10	仏像 見分け方講座	的野 克之		7,200円			
	11	現代日本仏教に見られる特徴は何か	蓑輪 顕量		9,600円			
集中	12	仏教・ヒンドゥー教・イスラーム教の対話	保坂 俊司		9,600円			
朱 <sup>中</sup> 	13	『華厳経』へのいざない	釈 悟震		9,600円			
	14	近代以降のインド的思惟の特質	丸井 浩		4,800円			

 (ア)
 受講料合計
 円

 (イ)
 入会金(新規の方)
 10,000 円

 継続事務費(継続の方)
 5,000 円

 (ア)+(イ)
 お支払額合計
 円

#### 《送付先》

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060 中村元記念館

FAX: 0852-76-9693

※申込用紙を郵送·FAXで送られる場合、申込み手続きはご入金された時点で完了いたします。申込日から1週間以内にご入金ください。

# 2015年度 特別講座

夏期講座

冬期講座

会場:中村元記念館会議室

●入会金は不要です。

● 1 講座5,000円(東方学院松江校研究会員<sup>\*</sup>4,500円)

※東方学院松江校に入会され、2015年度の定期講義または集中講義を受講されている方。

8/22(生) $_{15:20\sim16:50}$ 、23(日) $_{13:00\sim12:00}$ 



ほ さか しゅんじ 保坂 俊司

中央大学総合政策学部大学院教授

### 日本文化の起源としてのインド文化

近年、頓に日本とインドとの政治経済の関係が注目されることとなりました。そこで、 改めて日本とインドの思想的関係性を考えてみようと云うのが、本講座の眼目です。本 記念館の前田専學先生は「インド文化は日本文化の母である」とよく仰っておられます。 本講座では、この点を「神仏習合」をキーワードに考えます。その際、山陰の宗教事情 を思想、宗教、社会と多様な側面から総合的且つ実証的に検討してみたいと思います。 近代以降の日本は神仏分離、廃仏毀釈の政策のために、1000年近く続いた神仏の共存共 想の山並みが見えてくるのです。

# **8/29**(生)13:30~15:00 **30**(日)10:30~12:00 15:20~16:50 **30**(日)10:30~14:30



吉田宏 講師

大正大学名誉教授・博士(文学) 大正大学常任理事 真言宗智山派 宥勝寺住職

#### 世界の宗教について

人間と同様、犬や猫も皆命あるものであるが、犬や猫は自分が死ぬということを知ら ないし、自分の親や子が死んでもそれを悼んで埋葬するなどということはしない。人間 のみが人は生まれ年老いて死ぬということを知っており、身内の死を悼み、埋葬などの 儀礼をおこなう。この儀礼の仕方や意味づけが宗教の意味であるがその様式は世界の地 域や時代によってさまざまである。自分はいったいどの宗教を選ぶのか自分の魂の拠り 所は何かを探る。

# 9/5(土)13:30~15:00、6(日)10:30~12:00



せんがく 前田 專學 講師

公益財団法人中村元東方研究所理事長 東方学院長 中村元記念館館長 中村元記念館東洋思想文化研究所長 東京大学名誉教授 武蔵野大学名誉教授 史跡足利学校庠主

#### 仏典 『真理のことば』 (『法句経』) を読む

仏典を集めた叢書の中、もっとも古いものは『パーリ語三蔵』とか『原始仏典』とか 云われています。この講義で取り上げる『真理のことば』は、『原始仏典』の中で、おそ らく最も有名なもので、漢訳された経典の中の『発句経』に相当します。短い詩集で、 全体は26章に分かれ、423の詩句から成っています。『真理のことば』は、人間そのも のに対する、思わずハッとするような鋭い反省を述べており、世界各国で訳され、読ま れています。日本でも沢山の邦訳がありますが、本講義では、中村元先生の邦訳を使っ て、皆さんと読み、味わってみたいと思っています。

# **9/26**(土)<sup>13:30~15:00</sup>、**27**(日)<sup>10:30~12:00</sup> 15:20~16:50、**27**(日)<sup>10:30~12:00</sup>



講師

立正大学教授 文学博士 法華経文化研究所顧問

#### 天台四教儀

小乗・大乗仏教の教理を概説した『天台四教儀』を講読する。

# **2/6**(土)<sup>13:30~15:00</sup>、15:20~16:50、

**(日)**10:30~12:00 13:00~14:30



おかだ まみこ 岡田 真美子 講師

兵庫県立大学名誉教授 中村元記念館東洋思想文化研究所研究員 立正大学法華文化研究所特別所員

#### 環境宗教学

本講では人と環境のよりよい関係を再構築するためのわざである「空間見分け」と ネットワーキングについて学びます。心の最も深い部分に作用するものであると言われ る宗教を考慮することによって、地域のきずなに対する理解は一層深まります。 第1講 物神化空間―ゾーニングとコンセプト空間

山海の空間学―水見分けと神 第2講

植物文化と和の哲学 第3講

日本的民主主義と合意形成

# 3/5(土)13:30~15:00、6(日)10:30~12:00 13:00~14:30



しゃく ごしん 釈 悟震

中村元記念館東洋思想文化研究所副所長 公益財団法人中村元東方研究所研究員 韓国国立ソウル大学客員研究員 スリランカ国立ペラデニア大学客員研究員

#### 上座部仏教の実践

スリランカは、タイランド、ミャンマー、ラオス、カンボジアなどと共に上座部仏教 国としてよく知られている。中でもスリランカは殊に当該仏教の教学の頂点をきわめる 国であることは多言を必要としないだろう。これは歴史的、考古学的な文献と資料によ

り確かめることができる。すなわち同国の歴史は仏教そのものである。 しかしながら今日において実際的にどのような修行がなされているか、また、どのよ うな仏教文化が存在しているのかはあまり知られていないというのが現状と思われる。 したがって、本特別講座では、非常に端的に現代スリランカにおいて森林行者として実 践をつづけている人々の実態を通して今日の上座部仏教の真の姿の一端を確認し、東ア ジア仏教とも対比しながら今を生きる仏教の真髄は何かを追求したいと思います。

#### お申し込み についての お問合せ先

#### 中村元記念館 TEL 0852-76-9593 FAX 0852-76-9693

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060 松江市役所八束支所 2F メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp ホームページ▶http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

●休館日:月曜日 ●開館時間:10:00~18:00(入館は17:30まで)

2015年度 東方学院松江校 年間スケジュール

米クチ!沈仏はび		シードへつ	 		108	11		108			3日
0		5	50	£ 6	(公期 経期 開業	L			-		
- EF	- 关	.,			交換  開	- <b>II</b>	-⊀		- 供	月	-×
ر د د	∾+	①三桐				2 月	~ 논		7 T	×2 ×	2 水
8米	多3	3 月		3 (3) (3) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	3藤島	3 火	3 ¥	三桐	3	の大	3 ④丸井
4 大   ①三桐	4 H	3藤島 4	⑪萋輪	(3)釈		4 자	4.4		4 月	<b>4</b> ★	4 卷
다. 네	ច⊞		①蓑輪	【特別】前田		5 ②三桐	2 3	邮	<b>火</b> 5	요예	5 【特別】釈
<b>岩難</b> ® ∓	9 月		6 木 山蓑輪   6	【特別】前田		9	<u>В</u>		6 水	景 【特別】   日田	6 【特別】釈
E	卜犬					7 ③藤島	7日		~ <b>*</b>	7 (特別) 岡田	7 月
8	8米	园難9	【補】④⑤瀬古		₩三②	種傾⑩ 目	8火		88	8 月	8 ③釈
٥X	o⊬	①三楠		04		6 世	8 6 藤田		6十	の犬	7 (3)积
0	二金				9島田 (4)⑤休講→8/8)	10 火	(8)	三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	10 B	7.0 关	2*
7 ①三橺	<u>=</u> H	45瀬古 9島田				11 ⑥藤田 水	二金		11 月	<b>=</b> ⊀	二邻
C /H	20	⑩的野				12 ②三桐	12 9島	Ħ	12 火	12 金	H <sub>2</sub>
13 45瀬古 土 9島田	13 用					13	13 ⑩的野		7.3	H-73	13 E
				4 4 7 大	四難9	14 45瀬古 士 9島田	7世		<del>7</del> <del>⊀</del>	1 <sub>4</sub> III	14 月
o m.	记长				②三桐	15 B	5火		35	15 月	5六
ر د 9	16 木	①三桐		6 k	⑦齊藤	16 月	16 米		16 ±	16 火	16 水
الإ ح	に金	(7)齊藤			3藤島	17 火	0	三桐	17 B	17 水	*7
8 ①三楠	H≒	③藤島				7.8 大			18 月	<del>8</del> <del>K</del>	金金
9 (7齊藤	16 B					19 ②三桐	19 ③藤島 土 後期終	7	19 火	19	19 十
(3)   (3)	2( 月					20 ⑦齊藤	20 B		20 *	20 H	20 B
<u>5 m</u>	2⊀					21 ③藤島	21 月		12 <del>X</del>	21 B	21 月
22 月	22 *		22 土 (特別) 保坂	22 k	8清水谷 2三桐	22 B	75 75		22	22 月	22 火
<u>ლ</u> ა/	% <del>⊀</del>	8清水谷 ①三荷	【特別】保坂			23 月	23 73		23 ±	23 火	23 7
					4.5瀬古	24 (4⑤瀬古 火	54 <del>↑</del>		24 B	24 水	24 *
(5) ⑧清水谷 木 (1)三桐		4.5瀬古	②保坂				25 金		25 月	25 *	25 金
			②保坂	【特別】三友 【補】4⑤瀬古		26  ⑧清水谷 木  ②三桐	26 ±		26 火	26 金	26 ±
7 4 5瀬古			①保坂	【特別】三友		27 金	27 B		27 *	27 ±	27 B
∞ гт	≈⊀		28 金 金			28 (④⑤休講→9/26)			828	28 B	28 月
29 月	25 X		【特別】 吉田		(2)三桐	29 B	78 78		29	29 月	29 火
ر و	& <del>⊀</del>	①三桐	30 [特別] 吉田 30 水田			30 月	%¥		30 T		30 7k
	<u>⊬</u> ₩	前期終了		H 3			<del>۲</del> %		31 B		₩
				-		-					

中村元記念館は、中村元博士の業績の顕彰および仏教学・インド哲学をはじめとする東洋思想の普及・啓発を目的として、生誕100年である平成24年に島根県松江市八東町に設立されました。

館内には、中村博士の書斎を復元しその研究業績の数々を紹介する「展示室」、博士の蔵書約3万冊の一部を展示し東洋思想に関する本を閲覧できる「図書閲覧室」、東洋思想や哲学に関する子ども向けの本を閲覧



外観

できる「さるすべりコーナー」等を備えています。

中村元記念館は、東方学院松江校の運営、東洋思想に関する講演会・学会の誘致、提携大学のサテライトキャンパス、企画展・イベントの開催、研修旅行の企画等の事業を行い、日本における東洋思想研究の拠点となるべく活動しています。



図書閲覧室



展示室

◆創立:平成25年10月10日

◆館長:前田 專學(東京大学名誉教授、公益財団法人中村元東方研究所理事長、東方学院長)

#### 〈施設利用案内〉

開館時間/10:00~18:00 (入館は18:00まで) 休 館 日/月曜日、夏期・年末年始 入 館 料/無料

#### 〈団体見学のご案内〉

当館では、団体のお客様に対して、学芸員による展示室のご案内や研修のご提供を行っております。詳しくはお問合せください。



#### 〈記念館オリジナルグッズ〉好評発売中です♪



「慈しみの珈琲」 中村博士が最も大切にしていた慈しみの心。 一杯の珈琲とともに慈しみの ひとときをどうぞ。



「クリアフォルダー」 博士の学生時代のノートをデザインに 使っています。ノートは記念館展示室 にて公開中です。



「オリジナルノート」 これを使えば中村博士みたいに勉強 がはかどるかも? 裏表紙には「慈しみのことば」付き。

#### ●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。

詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。 〈活動内容の例〉

- · 蔵書整理
- ・イベント運営
- ・付属研修施設の環境整備
- ・チラシ等発送業務
- ・語学 (翻訳/通訳)



#### ●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約3万冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

#### 〈活動内容〉

- ・隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- ・可能であれば、関連する学会で発表をする。
- ・山陰における人文科学分野の研究を振興する。

#### 〈応募資格〉

- ・人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格(研究業績等)を有する方。
- ・中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

#### 〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。

- ・履歴書(功績書またはそれに準じるものを添付する)
- 研究課題書

#### 〈応募締切〉

2015年3月31日(火)必着

#### 〈待遇〉

- ・当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- ・研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- ・研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

 所長前田專學

 副所長 釈 悟 震

 主事清水谷善曉

#### アクセス

#### 飛行機でお越しの方

【米子空港から】車で約15分

【出雲空港から】車で約50分

#### 車でお越しの方

【広島から】車で3時間30分(中国自動車道三次I.C.経由)

【岡山から】車で2時間15分(岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道)

【松江駅から】車で約25分

【境港駅から】車で約10分

【米子駅から】車で約35分

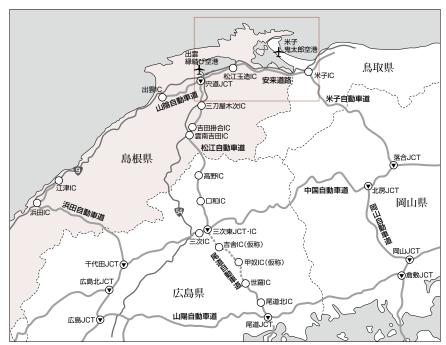
#### バスでお越しの方

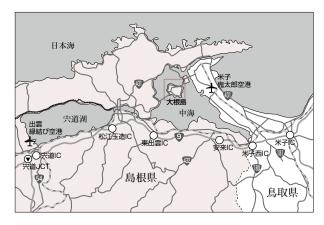
#### 【松江駅から】

- ・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所前」下車
- ・松江境港シャトルバス約25分「由志園」下車のち徒歩約10分

#### 【境港駅から】

- ・八束コミュニティバス約20分「八束中央」下車のち徒歩約3分
- ・松江境港シャトルバス約15分、「由志園」下車のち徒歩約10分









#### 2014年12月1日 発行

〒690-1404 島根県松江市八東町波入2060番地 松江市八東支所2F TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693 info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/